

共同生活援助 てんしゃば 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時：令和7年10月28日（火） 10:00～11:30

場所：グループホームそら（会議・見学）、あすか（見学）

参加者：山口貞江様（利用者代表）、富岡和子様（保護者代表）、
関口誠様（館林高等特別支援学校校長）、塚原様（館林市障がい福祉課）、
遠藤真由実、前山秀邦

司会：遠藤真由実

記録：前山秀邦

1. 開会（遠藤）

添付資料「共同生活援助てんしゃば 地域連携会議資料」を使い、共同生活援助、地域連携推進会議の概要、事業所訪問のポイントについて説明。

2. 議事

(1) 構成員、参加者紹介

構成員4名、てんしゃば職員2名の自己紹介。

(2) 共同生活援助てんしゃばについて（遠藤）

添付資料「共同生活援助てんしゃば 地域連携会議資料」を基に、てんしゃば基本理念、ニーズへの対応、沿革、利用者構成、日中の過ごしの方、職員構成、職員勤務体系、外部資源の利用や地域との関わり、施設内部の写真による紹介等をおこなう。

(3) サービスの透明性について

①令和6年度事業報告（遠藤）

添付資料「令和6年度てんしゃば事業報告」を用い、事業報告。

②令和6年度経営状況説明（遠藤）

添付資料「令和6年度資金収支計算書」を用い、前年度の収支の説明。

③令和7年度事業計画（遠藤）

添付資料「令和7年度共同生活援助てんしゃば 事業計画」を用い、今年度の事業計画の説明。

④危機管理対策について（遠藤）

添付資料「てんしゃば 令和7年度 研修・訓練年間スケジュール」を用い、利用者の人権擁護、危機管理対策（感染症、自然災害、火災）について説明。

(4) 利用者の権利擁護（遠藤、前山）

①利用者の生活について（遠藤）

②虐待・事故・ヒヤリハットの報告（前山）

③苦情処理（前山）

添付資料「令和6年度 事故報告・ヒヤリハット報告書・苦情対応」を用い、前年度に起きた事故、未然に予知したヒヤリハット、また苦情の報告と再発防止策についてご説明。

（5）意見交換会

各委員からのご質問をいただき、回答。

「職員勤務が入り組んでいるが、どのように引継ぎをおこなっているか」

（塚原委員）

口頭での申し送り、ノートでの申し送り、チャットワークグループによる情報共有をおこなっています。またあすか会議、そら会議、世話人会議でも情報や課題の共有を行っています。（回答：遠藤）

「9時間の勤務時間の中で休憩はどれぐらいとれているのか」（関口委員）

お昼休みで1時間ということになっているが、（会議、通院、利用者さんのスケジュール等当日の都合により後ろにずれ込むことがあります。また平日は日中事業所で休憩し、その他の時間にホーム勤務に入るなどのパターンもあります。（回答：遠藤）

「事業報告の概要で日中活動事業所の職員が兼務し支援体制を整えられたとあるが、具体的にどのような施策を行ったのか」（関口委員）

以前は専任職員による勤務であったが、一日の勤務が二回に分かれているなどの勤務体制が非常に不規則なため職員負担が大きく、また職員が疲弊することで支援力の低下の懸念が拭えない状態だった。そこで日中活動事業所の職員が支援に入ること、そういった状態を改善し、また多くの視点からの支援について意見交換が行える、ある職員が体調不良等で出勤できない場合でもサポート出来る等の体制作りも可能になりました。（回答：遠藤）

「ICT活用について。タブレットPCや業務アプリやAIの利用について。業務改善等を行う部署はどこなのか」（関口委員）

事務が中心となりアプリの導入を進めている。また現在、業務管理システムを新しいものを導入しようということで、システム業者に説明会を開いてもらい、分からないことなどは質問して実際に使い易いのか検討をおこなっている。また求人サービスサイトなどにもお金を払い、人材マッチングサービスも導入している。キャンパ等のパンフ作成アプリやSNSも利用し、法人PRに繋がっている。（回答：遠藤）

「ネットワークカメラやエアタグなどのアプリの導入についての検討はあるのか」(関口委員)

エアタグについては実際に利用して、無断外出時などの対応に役立てています。現在の利用者にはいません。(回答者：遠藤)

「前年度決算と当年度決算の人件費に¥20,000,000程の違いがあるのは何故なのか。その分のサービスが低下したということはないのか」(関口委員)

一体化職員の人件費は、日中事業所から出ている。そのため、見かけ上の人件費が削減している。また職員数は以前と同じだけ入っているため、サービスの低下はありません。また処遇改善手当の基準を満たし、その分を人件費に充てている。他にも加算をとることで支援を手厚くし支援力の向上に繋げている。

(回答：遠藤)

「先程の話を聞くと、収支のバランスをとることで、問題点が浮き彫りになることの妨げになっているのではないか。」(関口委員)

まずは入居率を挙げたいと考えています。運営の効率化について様々な意見を聞けるということは、このような会議を開く意義を強く感じられるところでもありますので、有難く参考にさせていただきます。

(回答者：遠藤)

「あすかの利用者は一人で出かけることが出来ているのか。」(富岡委員)

一人で出かけることが出来る人もいれば、それが難しい人もいらっしゃいます。またその人の特性により、支援のポイントが変わってくるので、その人にニーズにあった対応をしています。またホームでマンツーマンで対応できない場合でも、移動支援等を利用し、利用者さんのニーズに合ったサービスを受けられるように、自立支援協議会等で声をあげていきたいと考えています。

(回答者：遠藤)

3. 閉会

今年度を始まりとして、会議だけではない関係性が築ければ。至らぬ点も多かったともいますが、次年度の参考とさせていただきたいので事後アンケートにもご協力、また見学の日程調整についてご理解をお願いします。近日中に事後アンケートは送付させていただきます。今後とも宜しくお願いします。

以下、地域連携推進会議の見学と事後アンケートについて

施設見学について

1) 見学日程

- ・塚原委員～ 職務の都合上、会議当日の会議後に施設見学をされました。
- ・山口委員～ 事業所利用の都合上、会議当日の会議後に施設見学されました。
- ・富岡医院～ 家業の都合で、会議当日の会議後に施設見学されました。
- ・関口医院～ 12/5（金）に、館林高等特別支援学校の先生方と一緒に施設見学されました。

2) 見学の感想

- ・実際に生活されている居室等を見学され、『それぞれの部屋にも個性が表れている』『実際に見学してよかった』等の感想を頂きました。

4. 事後アンケート

7月8日に行われた地域連携推進会議の際、質問できなかったこと、また次回開催に向けてのご助言等頂くために事後アンケートを送付させていただきました。

※別紙「事後アンケートの返答」参照。